

冬のお山

石川 緑 瓦

春不川の吊橋 羽衣の橋を降り終ったよ

杉の森に入り上り路、こゝで一才指返つ

こみ木は、羽衣の橋。彼方に白糸の女滝が

よつとある。約六七丈、橋のこちから滝

壺は見えないうが、滝々と落る水の音の相聞

々々に唱題の声なきとえり。昔徳川家康の例

室お萬の方が一七日の間この滝に打たれ

女人禁制の七面山へ登つたのである。

いよゝく登りたよ、大丈夫登れらう

不途途中でこたえられたら、それこそ御難

たからなまし

私は心を促したてふが、うかひおまに

云つた。裏山とは違つて、話にきく比叡登り

と同じ様な路であるから、いくと春会に生れ

た男でも大丈夫とは思ひ乍ら、少しの不安

が伴つた。おたらし、気が持ちで云つた、た

20 10 大正 10